

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ロードカナロアが顕彰馬に選定される

今年度の顕彰馬記者投票(1997年4月1日から2017年3月31日の間に競走馬登録を抹消された馬が対象/投票者数190名/記者1人あたり最大4頭まで投票可)の結果、ロードカナロア(牡10歳)が得票数156票・得票率82.1%となり、「投票者数の $\frac{3}{4}$ 以上の票を得た馬」という選定基準を上回って顕彰馬に選定されました。2016年選定のジェンティルドンナ以来2年ぶり、史上33頭目の顕彰馬となります。

●宝塚記念に出走予定のワーザーが来日

6月24日(日)に行われる宝塚記念(G I)に出走予定のワーザー(騾7歳/香港・J. ムーア厩舎/30戦10勝)が、6月14日(木)、関西国際空港に到着、検疫のため三木ホースランドパークへ移動・入厩しました。同馬は2016年クイーンエリザベスII世C、2017年香港ゴールドC、2017年チャンピオンズ&チャターC(いずれもG I)の勝ち馬で、外国馬の宝塚記念出走は1997年のセトステイヤー(オーストラリア)以来のこととなります。

●富田暁騎手がフランスの若手騎手招待レースに参加

6月17日(日)のディアヌ賞(仏オークス/G I)当日、フランスのシャンティイ競馬場で行われる「ロンジン・フューチャー・レーシング・スター賞」に、富田暁騎手(栗東・木原一良厩舎)がJRA代表として参加します。同レースは25歳未満・通算10勝以上50勝以下の騎手が出場する若手騎手招待レースで、イギリス、アイルランド、ドイツ、フランスから各2名、オーストラリア、南アフリカ、アメリカ合衆国、日本、トルコ、モロッコから各1名、計10か国14名の騎手が騎乗する予定です。

●ジョッキーベイビーズ、今年も開催

乗馬に励む子供たちの夢舞台として定着した全国ポニー競馬選手権「第10回ジョッキーベイビーズ」が今年も開催されます(出場資格は小学4年生から中学1年生)。本年の地区代表決定戦・選考会は7月15日(日)の沖縄を皮切りに全国8地区(北海道、東北・新潟、関東、長野、東海、関西、九州、沖縄)で実施。代表に選出された8名は、10月7日(日)の東京競馬場、毎日王冠(G II)当日の最終レース終了後に開催される決勝大会へと進みます。なお、今年も長谷川町子美術館とのコラボレーションにより、決勝大会には国民の人気キャラクター「サザエさん」が登場する予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JRAの伏兵ハービンマオが関東オークス(川崎)に優勝

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月13日、川崎、2100m)は、6番手から差を詰めた6番人気のハービンマオ(松岡正海騎手、父ハービンジャー)が、先に抜け出したゴールドパテック(川崎)をゴール前で捉えて $\frac{3}{4}$ 馬身差を付けました。2番人気のプリンセスノコは5着、出遅れて3番手に取り付いた単勝1.8倍で断然人気のララブリムヴェールは6着、メイショウヒサカタは8着でした。

●東海ダービーはビップレイジング(笠松)【各地の主要3歳重賞】

東海ダービー(6月5日、名古屋、1900m)は、中団から追いつけた4番人気のビップレイジング(牡、父シニスターミニスター)が、逃げた単勝元返して圧倒的人気の10戦全勝馬サムライドライブをゴール前で差し切りました。兵庫ダービー(6月7日、園田、1870m)は、中団から向正面で一気に差を詰め、4コーナー手前で抜け出した3番人気のコーナスフロリダ(牡、父エスポワールシチー)が2歳時の園田ジュニアC以来の重賞勝ち。岩手ダービーダイヤモンドC(6月10日、水沢、2000m)は、5~6番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったチャイヤブーン(牡、父フェデラリスト)が4馬身差で楽勝、単勝1.1倍の支持に応えて4度目の重賞制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●米G1ベルモントS~ジャスティファイが無敗で米三冠を達成

9万327人の大観衆が見守る中、6月9日に米ニューヨーク州のベルモントパーク競馬場で行われたG1ベルモントS(ダート12 $\frac{1}{2}$)は単勝1.8倍の圧倒的な1番人気に支持されたジャスティファイ(牡3歳、父スキップダディ)が逃げて、イギリスからの移籍馬グロコウスキーに1馬身 $\frac{3}{4}$ 差をつけて快勝。5月5日のG1ケンタッキーダービー(ダート10 $\frac{1}{2}$)、5月19日のG1プリークネスS(ダート9.5 $\frac{1}{2}$)に続く優勝で、2015年のアメリカンファラオ以来、史上13頭目となる米三冠を達成しました。ジャスティファイは今年2月18日のデビューからこれで6連勝。無敗での米三冠制覇は1977年のシアトルスルー以来、史上2頭目のことです。良馬場の勝ちタイムは2分28秒18。鞍上のM. スミス騎手は2010年ドロッセルマイヤー、2013年パレスマリスに続くこのレース3勝目。管理するB. パファート調教師は2001年ポイントギヴン、そしてアメリカンファラオ以来の3勝目で、米三冠レース15勝は史上最多記録となりました。